平成28年度

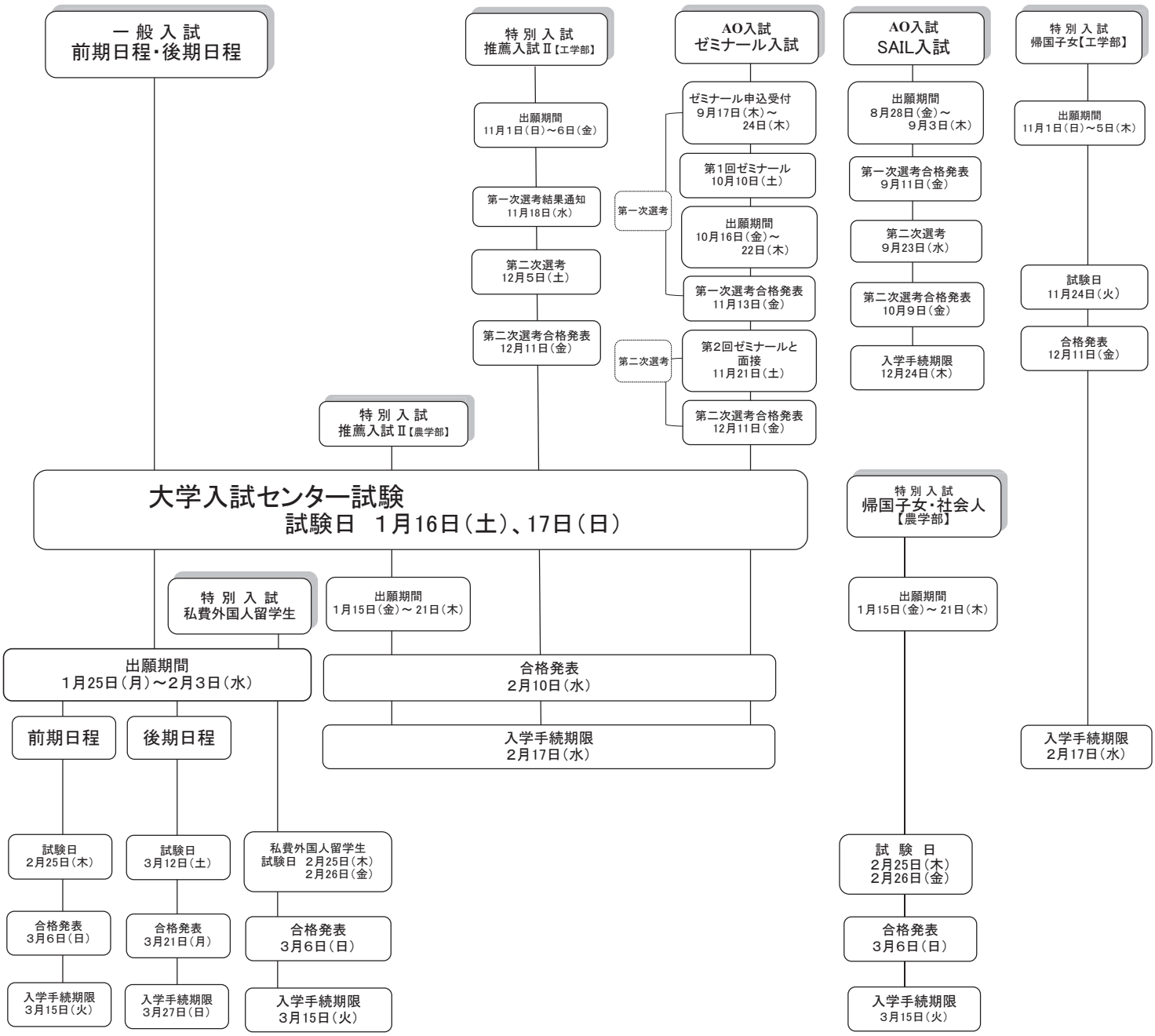
入 学 者 選 抜 要 項

国立大学法人 東京農工大学

Tokyo University of Agriculture and Technology

平成28年度　東京農工大学入学者選抜試験日程一覧

〈学部1年次入学試験〉



学生募集要項の発表・配布時期	
・AO入試学生募集要項	平成27年7月中旬
・特別入試学生募集要項	平成27年8月下旬
・一般入試学生募集要項	平成27年10月下旬

目　　次

Ⅰ　東京農工大学アドミッション・ポリシー …… 1

Ⅱ　入学定員および募集人員 …… 5

Ⅲ　入学者の選抜方法 …… 6

Ⅳ　一　般　入　試
　1　出願資格 …… 8
　2　選抜方法 …… 8
　3　選抜期日等 …… 8
　4　入学者選抜実施教科・科目等 …… 8

Ⅴ　特　別　入　試 …… 14
　ゼミナール入試（AO入試）〈農学部〉 …… 15
　SAIL入試（AO入試）〈工学部〉 …… 16
　推薦入試Ⅱ〈農学部〉 …… 17
　〃〈工学部〉 …… 18
　帰国子女〈農学部〉 …… 20
　〃〈工学部〉 …… 21
　社会人〈農学部〉 …… 22
　私費外国人留学生入試〈農学部・工学部〉 …… 23

Ⅵ　受験上および修学上の配慮を必要とする者の事前相談 …… 25

Ⅶ　入試情報開示について …… 25

Ⅷ　募集要項等の発表および請求方法 …… 26

Ⅰ．東京農工大学アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

（前文）

東京農工大学は、東京武蔵野に位置し、その歴史は、1874 年に設置された内務省農事修学場および蚕業試験掛をそれぞれ農学部、工学部の創基とし、1949 年に大学として設置され、前身校を含め長きに亘る歴史と伝統を有する大学です。この建学の経緯から、人類社会の基幹となる農業と工業を支える農学と工学の二つの学問領域を中心として、幅広い関連分野をも包含した全国でも類を見ない特徴ある科学技術系大学として発展してきました。

20世紀の社会と科学技術が顕在化させた「持続発展可能な社会の実現」に向けた課題を正面から受け止め、農学、工学およびその融合領域における自由な発想に基づく教育研究を通して、世界の平和と社会や自然環境と調和した科学技術の進展に貢献するとともに、課題解決とその実現を担う人材の育成と知の創造に邁進することを基本理念としています。この基本理念を「使命志向型教育研究－美しい地球持続のための全学的努力」（MORE SENSE：Mission Oriented Research and Education giving Synergy in Endeavors toward a Sustainable Earth）と標榜し、自らの存在と役割を明示して、21世紀の人類が直面している課題の解決に真摯に取り組んでいます。

（学士課程）

東京農工大学は、学士課程において、学生の自主的・自律的な学習活動を尊重し、科学技術系の大学に相応しい学識、知の開拓能力、課題探求能力、問題解決能力を兼ね備えた人材の育成を行っています。

大学の理念と農工両学部の教育目的に応じて、入学者選抜試験における教科・科目を設定し、明確な目的を持った人の入学を求めています。特に、自然や科学技術に関心を持ち、意欲と主体性を持って勉学に励む人を、国内外から広く受け入れます。

農学部では、農学、生命科学、環境科学、獣医学分野の諸問題の解決と持続発展可能な社会の形成に資するため、広く知識を授けるとともに基礎的専門知識を授け、豊かな教養、高い倫理観と国際感覚を具備し、共生社会を構築して人類社会に貢献できうる、先駆的で人間性豊かな人材を育成することを目的としています。

工学部では、工学分野の科学技術に関する基礎及び専門知識・技術を授け、大自然に対する真理の探究心と解決すべき諸問題の本質を見抜く能力を育成します。また、持続可能な社会の実現に生かすことのできる幅広い教養と専門知識を有し、人類社会に貢献できうる、先駆的で人間性豊かな人材を育成することを目的としています。

この目的を達成するため、以下のアドミッション・ポリシーを定めて学士を養成し広く社会に貢献します。

農学部（学士課程）アドミッション・ポリシー

農学部は、それぞれの分野に共通する基礎的科目を系統的に教育するとともに、学科の特質に応じた、専門教育を実施することにより、広い視野と専門知識を持った多様な優れた人材を養成することを目的とする。各学科が対象とする様々な課題に果敢に挑戦する意欲を持ち、それぞれの専門教育で求められる基礎的な学力を有する、次の者を求める。

１．地域社会や国際社会における食料・生命・資源・環境に関する様々な問題に関心を持ち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいという意欲を持つ者。
２．人類が直面している諸課題に対し、多面的に考察し、自分の考えをまとめることができ、日本語で他者にわかりやすく表現できる者。
３．高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有し、課題を解くことができ、理数系科目や英語科目について、実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術を有している者。

生物生産学科

１．生物生産学科は、日本および世界の農業を広く深く理解するとともに、農業に関わる高度な専門的知識を身につけ、生産環境、植物生産、動物生産および農業経営経済の分野において優れた基礎的・応用的能力を有する、広い視野に立つ人材を養成することを目的とする。このような目的を持つ教育課程に真摯に取り組むことができる、次のような者を求める。
２．人類が直面する食料・農業・農村問題、持続的農業等の問題に関心があり、農業に関わる高度な専門的知識を身につけたいという意欲を持つ者。
３．生物学等の理科系科目ならびに国語・数学・英語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

応用生物科学科

１．応用生物科学科は、分子生命化学、生物機能化学、生物制御学などのバイオサイエンス・バイオテクノロジーの分野において優れた基礎的・応用的能力を有する、広い視野に立つ人材を養成することを目的にする。このような目的を持つ教育課程に真摯に取り組むことができる、次のような者を求める。
２．バイオサイエンス・バイオテクノロジーの分野に関心があり、それらの分野での活動を通じて社会的、国際的に貢献したいという意欲を持つ者。
３．生物学・化学等の理科系科目ならびに国語・数学・英語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

環境資源科学科

１．環境資源科学科は、人類が地球環境と調和して生きていくための科学技術を創成することを目指し、生物学、化学、物理学などの自然科学に関する基礎学力を身につけ、環境や資源に関する問題解決に貢献しうる洞察力と探究心をそなえた人材を養成することを目的にする。このような目的を持つ教育課程に真摯に取り組むことができる、次のような者を求める。
２．環境や資源に関する諸問題に関心があり、そうした諸問題の解決に貢献したいという意欲を持つ者。
３．生物学・化学・物理学等の理科系科目ならびに国語・数学・英語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

地域生態システム学科

１．地域生態システム学科は、森林・農村・都会を連続した地域と捉え、農の営みや自然と人間活動の多様な関係を対象として、自然科学と人文社会科学の協働による地域管理・計画に関する知識を身につけ、企業・研究機関・行政機関・地域社会における問題解決型の有能な人材を養成することを目的とする。このような目的を持つ教育課程に真摯に取り組むことができる、次のような者を求める。
２．地域の生態や生産・社会の管理・計画・再生などに関わる諸問題に関心があり、その解決に貢献したいという意欲を持つ者。
３．数学・理科・英語等の基礎科目に十分な学力を有するとともに、社会系の科目にも興味をもつ者。

共同獣医学科

１．獣医師は人類と動物の健康と福祉に貢献するという理念に基づき、本共同獣医学科は、高度獣医療の提供、人類の健康と食の安全、生命科学研究の発展に活躍できる国際的な視野を持つ人材を養成することを設置基盤としている。そのために、本共同獣医学科では、次の能力・資質を備えた者を国内外から求める。
２．獣医師としての目標を持ち、獣医学の発展に貢献しようとする意欲を持ち、自然や生命現象に関心を持ち、それを探求しようとする意欲を持つ者。
３．獣医師として、国際的な交流・協力を推進し、世界に学び世界に貢献しようとする意欲を持ち、常に自己を啓発し、実行力に優れ、社会で貢献しようとする意欲および課題を探求し、問題を解決する意欲を持つ者。

工学部（学士課程）アドミッション・ポリシー

工学部は、工学分野の科学技術に関する基礎的科目を系統的に教育するとともに、学科の特質に応じた、専門教育を実施することにより、広い視野と専門知識を持った多様な優れた人材を養成することを目的とする。各学科が対象とする様々な課題に果敢に挑戦する意欲を持ち、それぞれの専門教育で求められている基礎的な学力を有する、次の人材を求める。

1．大自然の真理に対する探求心とモノ作りマインドを持ち、工学分野の科学技術に関心があり、身に付けた知識を持続可能な社会の実現に役立てたいという意欲を持つ者。
2．人類が直面している諸課題に対し、多面的に考察し、自分の考えをまとめることができ、日本語で他者にわかりやすく表現できる者。
3．高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有し、課題を解くことができ、理数系科目や英語科目について、実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術を有している者。

生命工学科

1．生命工学科は、最先端の技術力、論理的な思考力、及び科学・技術に関する国際的コミュニケーション能力を身につけた、あらゆる生命工学分野のニーズに即応して活躍できる人材を養成することを目的とする。このような目的をもつ教育課程に真摯に取り組むことができる、次のような人材を求める。
2．最先端の生命工学分野に強い関心があり、研究者・専門技術者として社会のニーズに対応しつつ活躍したいという意欲を持つ者。
3．生物学・化学・物理学等の理科系科目ならびに数学・英語・国語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

応用分子化学科

1．応用分子化学科は、自然、生命、環境、エネルギーに関連した諸問題を解決し発展させるために、これらを原子、分子レベルで理解し、制御し、応用する能力を持ち、最先端の化学の中で活躍できる基礎力と創造性をもつ人材を養成することを目的とする。このような目的をもつ教育課程に真摯に取り組むことができる、次のような人材を求める。
2．自然、生命、環境、エネルギー等に関心があり、最先端の化学の中でこれの諸問題を解決し発展させたいという意欲を持つ者。
3．化学・物理学等の理科系科目ならびに数学・英語・国語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

有機材料化学科

1．有機材料化学科は、現代社会を支える有機・高分子材料の本質を理解するために化学全般に加えて物理の基礎を学ぶ教育課程を提供し、有機材料の科学と技術を将来に向けて継承する基盤力と、得られた知識、技術、考える力をもとに高機能性材料を環境負荷・安全性といった観点も含めて創製・開発できる展開力を育成することを目的とする。このような目的をもつ教育課程に真摯な姿勢で取り組むことができる、次のような人材を求める。
2．プラスチックス、繊維等の生活関連材料から、最先端の高機能性材料まで、広く化学・材料科学に関心があり、いろいろな有機・高分子材料を創製・開発できる研究者・技術者として活躍したいという意欲をもつ者。
3．化学・物理学等の理科系科目ならびに数学・英語・国語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

化学システム工学科

1．化学システム工学科は、化学工学の基礎から専門までの知識を幅広く修得させ、地球、環境、エネルギー、新素材、生命、情報、社会システム等をキーワードに、新しい化学システムを創造することができ、かつ国際的な視野で活躍ができるケミカルエンジニアを養成することを目的とする。このような目的をもつ教育課程に真摯に取り組むことができる、次のような人材を求める。
2．地球、環境、エネルギー、新素材、生命、情報、社会システム等に関心があり、新しい化学システムの創造や国際的な視野で活躍するケミカルエンジニアとして活躍したいという意欲を持つ者。
3．化学・物理学等の理科系科目ならびに数学・英語・国語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

機械システム工学科

１．機械システム工学科は、数学・物理学を基礎として、機械工学全般にわたる基盤教育を推進する。また、知的好奇心、洞察力と創造力、社会性と倫理観、語学力と国際性を身につけた研究者・技術者として、環境と調和し、時代の要求に応える理想的な機械システムを創造する人材を養成することを目的とする。このような目的をもつ教育課程に真摯に取り組むことができる次のような人材を求める。

２．機械工学全般に関心があり、時代の要求に応える理想的な機械システムを創造したいという意欲を持つ者。

３．物理学等の理科系科目ならびに数学・英語・国語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

物理システム工学科

１．物理システム工学科は、物理学を基礎から体系的に学び、その基本原理を修得するとともに、論理的思考能力を培うことで、多様化し複雑化する工学的課題に対して物理学的視点・方法から問題を発見・分析して、その解決の方策を実践的に展開させる能力をもつ人材の養成を目的とする。このような目的をもつ教育課程に真摯に取り組むことができる、次のような人材を求める。

２．物理学全般に関心があり、工学的課題に対して物理学的視点・方法から問題を発見・分析して、その解決の方策を実践的に展開したいという意欲を持つ者。

３．物理学等の理科系科目ならびに数学・英語・国語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

電気電子工学科

１．電気電子工学科は、新しい素子・材料の創出をベースとした先端的なシステムエレクトロニクスの構築、並びに、人間・環境と機械の間の情報交換を行うための電子情報通信工学技術の創出に必要な教育研究を行う。また、現代社会の持続的発展に不可欠な電気電子工学分野の基盤技術を支え、国際的に産業技術の進展に貢献できる人材の養成を目的とする。このような目的をもつ教育課程に真摯に取り組むことができる、次のような人材を求める。

２．先端的なシステムエレクトロニクスの構築、電子情報通信工学技術等、電子電気工学分野に関心があり、国際的な産業技術の進展に貢献したいという意欲を持つ者。

３．物理学等の理科系科目ならびに数学・英語・国語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

情報工学科

１．情報工学科は、実験や演習を通して「作」ることを経験し、新しい情報システムを「創」り出し、さらに「造」りあげる誇りと喜びを見出しつつ、《創・造・作》の修得を目的とする。この理念に基づき、計算機の動作原理から最先端技術の実現方式に至るまで把握でき、研究者・技術者として第一線で活躍できる人材の養成を目的とする。このような目的をもつ教育課程に真摯に取り組むことができる、次のような人材を求める。

２．情報工学や新しい情報システムを創り出すことに関心があり、最先端技術の研究者・技術者として第一線で活躍したいという意欲を持つ者。

３．物理学等の理科系科目ならびに数学・英語・国語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

Ⅱ．入学定員および募集人員

学部	学科名	入学定員	募集人員					
			前期日程試験	後期日程試験	ゼミナール入試	推薦入試Ⅱ	帰国子女・社会人	私費外国人留学生
農学部	生物生産学科	57 人	38 人	13 人		6 人	若干名	若干名
	応用生物科学科	71 人	47 人	16 人		8 人	若干名	若干名
	環境資源科学科	61 人	40 人	12 人	3 人	6 人	若干名	若干名
	地域生態システム学科	76 人	53 人	15 人		8 人	若干名	若干名
	共同獣医学科	35 人	25 人	6 人		4 人		若干名
	学部計	300 人	203 人	62 人	3 人	32 人		

(注) 1. 前期日程の募集人員には、帰国子女、社会人および私費外国人留学生入試の若干名を含みます。
(注) 2. ゼミナール入試および推薦入試Ⅱの合格者が募集人員に満たなかった場合は、その欠員分は前期日程の募集人員に加えます。

学部	学科名	入学定員	募集人員					
			前期日程試験	後期日程試験	SAIL入試	推薦入試Ⅱ	帰国子女	私費外国人留学生
工学部	生命工学科	77 人	48 人	24 人		5 人	若干名	若干名
	応用分子化学科	46 人	28 人	14 人		4 人	若干名	若干名
	有機材料化学科	41 人	28 人	11 人		2 人	若干名	若干名
	化学システム工学科	35 人	20 人	12 人		3 人	若干名	若干名
	機械システム工学科	116 人	77 人	34 人		5 人	若干名	若干名
	物理システム工学科	56 人	33 人	18 人	5 人		若干名	若干名
	電気電子工学科	88 人	56 人	26 人		6 人	若干名	若干名
	情報工学科	62 人	36 人	21 人	5 人		若干名	若干名
	学部計	521 人	326 人	160 人	10 人	25 人		

(注) 1. 前期日程の募集人員には、帰国子女および私費外国人留学生入試の若干名を含みます。
(注) 2. SAIL入試および推薦入試Ⅱの合格者が募集人員に満たなかった場合は、その欠員分は前期日程の募集人員に加えます。

Ⅲ．入学者の選抜方法

１．入学試験の概要

本学の入学者選抜は、次により行います。

入試区分	選抜区分	実施学部	センター試験	入試概要等 （詳細は必ず、募集要項を確認してください）	掲載ページ
一般入試	前期日程	農学部 工学部	課す	前期日程（２月25日）と後期日程（３月12日）に分けて個別学力検査を実施します。一般入試に出願するには、大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目を全て受験する必要があります。 なお、国公立大学の前期日程に合格し入学手続を完了した者は、後期日程を受験しても合格者となりません。	8～13
	後期日程				
特別入試	ゼミナール入試（ＡＯ入試）	農学部 (環境資源科学科)	課す	ゼミナール方式の集中講義および実験教室を通じて、一般入試では判定することが難しい専門分野への適性、意欲、目的意識、コミュニケーション能力、基礎学力などを総合的に評価するＡＯ入試を実施します。	15
	ＳＡＩＬ入試（ＡＯ入試）	工学部 (物理システム工学科、情報工学科)	課さない	特別な活動成果を持つ者の中から、活動成果のレポートや面接などの成績、さらに調査書等の内容を主な資料として総合的に評価するＡＯ入試を実施します。	16
	推薦入試Ⅱ（農学部）	農学部	課す	大学入試センター試験の成績、推薦書、志望理由書および調査書で総合評価する推薦入試を実施します。	17
	推薦入試Ⅱ（工学部）	工学部 (物理システム工学科、情報工学科を除く)	課す	大学入試センター試験、小論文、面接などの成績と調査書、推薦書および志望理由書の内容などを主な資料として総合評価する推薦入試を実施します。	18・19
	帰国子女	農学部 (共同獣医学科を除く) 工学部	課さない	日本国籍を有する者または日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等の事情により海外に在住し、外国の学校教育を受けた者を対象に入試を実施します。	20・21
	社会人	農学部 (共同獣医学科を除く)	課さない	社会人としての実践的な経験を通じて、勉学に強い意欲を持った者に高等教育を受ける機会を目的とした入試を実施します。	22
	私費外国人留学生	農学部 工学部	課さない	日本国籍を有しない者のうち、外国において学校教育における12年の課程を修了した者等で、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験および本学指定の英語検定試験を受験または指定の基準を満たしている者を対象に入試を実施します。	23・24

２．一般入試の実施方式

一般入試は、分離分割方式で実施します。

注：　分離分割方式とは、入学定員を「前期日程」と「後期日程」の二つに分け、まず、「前期日程」の試験の実施と合格者の決定を行い、その合格者が入学手続を行います。次に、「後期日程」の試験の実施と合格者の決定を行い、その合格者が入学手続を行います。

この際、「前期日程」の試験に合格し、所定の期日（平成28年３月15日）までに入学手続を完了した者については、「後期日程」に出願し、受験しても「後期日程」の大学・学部の合格者とはなりません。

また、「前期日程」または「後期日程」の試験に合格し、その入学手続を行わなかった者は、その「前期日程」または「後期日程」の大学・学部への入学を辞退したものとして取り扱います。

３．一般入試の出願について

志願者は、「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの合計二つの大学・学部に出願することができます。したがって、本学の「前期日程」に出願する者は、他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の「前期日程」に出願することはできません。

また、本学の「後期日程」に出願する者は、他の国公立大学・学部の「後期日程」に出願することはできません。

※公立大学協会ホームページ（http://www.kodaikyo.org/nyushi）参照

４．学内併願について

本学の「前期日程」と「後期日程」の両方に出願することは、同じ学科の場合、異なる学科の場合とも可能です。

Ⅳ. 一　般　入　試

1．出　願　資　格

次の各号のいずれかに該当し、**かつ、志願する学部・学科が指定する平成28年度大学入試センター試験の教科・科目を受験した者とします。詳細については、別紙２（p10～13）を参照してください。**

(1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）または中等教育学校を卒業した者および平成28年３月までに卒業見込みの者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および平成28年３月までに修了見込みの者

(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち次の各項目の一つに該当する者および平成28年３月31日までにこれに該当する見込みの者

① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および平成28年３月までに修了見込みの者

③ 専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者

④ 文部科学大臣の指定した者

⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第１号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規定（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）および平成28年３月31日までに合格見込みの者で、平成28年３月31日までに18歳に達するもの

⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成28年３月31日までに18歳に達するもの

（注）上記(1)、(2)および(3)①～⑤に該当しない者であって、(3)の⑥で出願しようとする者は、出願前に個別の入学資格審査が必要となります。

入学資格審査を希望する者は、平成27年９月８日(火)までに、本学学務部入試課へ問い合わせてください。

ただし、大学入試センター試験に出願後、新たに本学へ出願しようとする者は、平成28年１月５日(火)までに問い合わせてください。

2．選　抜　方　法

入学者の選抜は、大学入試センター試験の成績、個別学力検査の成績および調査書の内容を総合して行います。

3．選抜期日等

	出願期間	選抜期日	合格発表日	入学手続期限
前　期　日　程	平成28年１月25日(月) ～ 平成28年２月３日(水)	平成28年２月25日(木)	平成28年３月６日(日)	平成28年３月15日(火)
後　期　日　程		平成28年３月12日(土)	平成28年３月21日(月)	平成28年３月27日(日)

4．入学者選抜実施教科・科目等

次の別紙１（9ページ）および別紙２（10ページ～13ページ）を参照してください。

別紙1

平成28年度東京農工大学入学者選抜方法等
（一般入試、専門高校・総合学科卒業生入試）

学部	日程	学科名	個別学力検査等								専門高校・総合学科卒業生入試						個別学力検査等の日程	備考（欠員の補充の方法等）
			個別学力検査を課する	実技検査等				2段階選抜			個別学力検査を課する	実技検査等				募集人員		
				実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数 定員に対する倍率	第1段階の選抜による合格者数 その他		実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する			
農学部	前期日程試験	生物生産学科 応用生物科学科 環境資源科学科 地域生態システム学科 共同獣医学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	追加合格
農学部	後期日程試験	生物生産学科 応用生物科学科 環境資源科学科 地域生態システム学科 共同獣医学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	追加合格
工学部	前期日程試験	生命工学科 応用分子化学科 有機材料化学科 化学システム工学科 機械システム工学科 物理システム工学科 電気電子工学科 情報工学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	追加合格
工学部	後期日程試験	生命工学科 応用分子化学科 有機材料化学科 化学システム工学科 機械システム工学科 物理システム工学科 電気電子工学科 情報工学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	追加合格

（注）○印は該当することを、×印は該当しないことを示す。

別紙２

平成２８年度東京農工大学入学者選抜の実施教科・科目等について

学部・学科等名及び入学定員等（平成27年度）志願倍率		学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科	科目名等	個別学力検査等 教科等	科目名等	2段階選抜	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等 試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配点合計	その他の選抜方法等
農学部〔5.9〕 300人 前期 203 後期 62 その他 35	生物生産学科 57人 前期 38 後期 13 その他 6	前期 2月25日			数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル)		センター試験	200	＊100	＊100	200	200	200	900	推薦 帰国子女 社会人 外国人 追加合格
					理	物基・物、化基・化、生基・生から2		個別学力検査				200	150 150	200	700	
					外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		計	200	＊100	＊100	400	500	400	1600	
		後期 3月12日			外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		センター試験	200	＊100	＊100	200	200	200	900	
								個別学力検査						400	400	
								計	200	＊100	＊100	200	200	600	1300	
	応用生物科学科 71人 前期 47 後期 16 その他 8	前期 2月25日	国	国語	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル)		センター試験	200	＊100	＊100	200	200	200	900	推薦 帰国子女 社会人 外国人 追加合格
					理	物基・物、化基・化、生基・生から2		個別学力検査				200	150 150	200	700	
					外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		計	200	＊100	＊100	400	500	400	1600	
		後期 3月12日	地歴 公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 から1	外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		センター試験	200	＊100	＊100	200	200	200	900	
								個別学力検査						400	400	
								計	200	＊100	＊100	200	200	600	1300	
	環境資源科学科 61人 前期 40 後期 12 その他 9	前期 2月25日	数 理 外	「(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工、簿、情報から1)」の2 物、化、生、地学から2 英(ﾘｽﾆﾝｸﾞを含む)、独、仏、中、韓から1 ［5教科7科目］	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル)		センター試験	200	＊100	＊100	200	200	200	900	ゼミナール 推薦 帰国子女 社会人 外国人 追加合格
					理	物基・物、化基・化、生基・生から2		個別学力検査				200	150 150	200	700	
					外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		計	200	＊100	＊100	400	500	400	1600	
		後期 3月12日			外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		センター試験	200	＊100	＊100	200	200	200	900	
								個別学力検査						400	400	
								計	200	＊100	＊100	200	200	600	1300	
	地域生態システム学科 76人 前期 53 後期 15 その他 8	前期 2月25日			数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル)		センター試験	200	＊100	＊100	200	200	200	900	推薦 帰国子女 社会人 外国人 追加合格
					理	物基・物、化基・化、生基・生から2		個別学力検査				200	150 150	200	700	
					外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		計	200	＊100	＊100	400	500	400	1600	
		後期 3月12日			外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		センター試験	200	＊100	＊100	200	200	200	900	
								個別学力検査						400	400	
								計	200	＊100	＊100	200	200	600	1300	
	共同獣医学科 35人 前期 25 後期 6 その他 4	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 から1 「(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工、簿、情報から1)」の2 物、化、生から2 英(ﾘｽﾆﾝｸﾞを含む)、独、仏、中、韓から1 ［5教科7科目］	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル)		センター試験	200	＊100	＊100	200	200	200	900	推薦 外国人 追加合格
					理	物基・物、化基・化、生基・生から2		個別学力検査				200	150 150	200	700	
					外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		計	200	＊100	＊100	400	500	400	1600	
		後期 3月12日			外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		センター試験	200	＊100	＊100	200	200	200	900	
								個別学力検査						400	400	
								計	200	＊100	＊100	200	200	600	1300	

学部・学科等名及び入学定員等〔平成27年度志願倍率〕		学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科	科目名等	個別学力検査等 教科等	科目名等	2段階選抜	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等 試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配点合計	その他の選抜方法等
工学部〔5.2〕 521人 前期 326 後期 160 その他 35	生命工学科 77人 前期 48 後期 24 その他 5	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 から1 「(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工、簿、情報から1)」の2 物、化、生から2 英(ﾘｽﾆﾝｸﾞを含む)、独、仏、中、韓から1 ［5教科7科目］	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル) 物基・物、化基・化、生基・生から2 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		センター試験	200	＊100	＊100	200	200	200	900	推薦 帰国子女 外国人 追加合格
								個別学力検査				200	125 125	100	550	
								計	200	＊100	＊100	400	450	300	1450	
		後期 3月12日			数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル) 物基・物、化基・化から1 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		センター試験	100	＊50	＊50	200	200	100	650	
								個別学力検査				150	300	200	650	
								計	100	＊50	＊50	350	500	300	1300	
	応用分子化学科 46人 前期 28 後期 14 その他 4	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 から1 「(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工、簿、情報から1)」の2 物と化の2 英(ﾘｽﾆﾝｸﾞを含む)、独、仏、中、韓から1 ［5教科7科目］	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル) 物基・物と化基・化の2 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		センター試験	200	＊100	＊100	200	200	200	900	推薦 帰国子女 外国人 追加合格
								個別学力検査				200	125 125	100	550	
								計	200	＊100	＊100	400	450	300	1450	
		後期 3月12日			数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル) 物基・物、化基・化から1 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		センター試験	100	＊50	＊50	200	200	100	650	
								個別学力検査				150	300	200	650	
								計	100	＊50	＊50	350	500	300	1300	
	有機材料化学科 41人 前期 28 後期 11 その他 2	前期 2月25日			数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル) 物基・物と化基・化の2 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		センター試験	200	＊100	＊100	200	200	200	900	推薦 帰国子女 外国人 追加合格
								個別学力検査				200	125 125	100	550	
								計	200	＊100	＊100	400	450	300	1450	
		後期 3月12日			数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル) 物基・物、化基・化から1 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		センター試験	100	＊50	＊50	200	200	100	650	
								個別学力検査				150	300	200	650	
								計	100	＊50	＊50	350	500	300	1300	
	化学システム工学科 35人 前期 20 後期 12 その他 3	前期 2月25日			数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル) 物基・物と化基・化の2 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		センター試験	200	＊100	＊100	200	200	200	900	推薦 帰国子女 外国人 追加合格
								個別学力検査				200	125 125	100	550	
								計	200	＊100	＊100	400	450	300	1450	
		後期 3月12日			数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル) 物基・物、化基・化から1 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		センター試験	100	＊50	＊50	200	200	100	650	
								個別学力検査				150	300	200	650	
								計	100	＊50	＊50	350	500	300	1300	

学部・学科等名及び入学定員等［平成27年度志願倍率］		学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科	科目名等	個別学力検査等 教科等	科目名等	2段階選抜	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等 試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配点合計	その他の選抜方法等
工学部〔5.2〕 521人 前期 326 後期 160 その他 35	機械システム工学科 116人 前期 77 後期 34 その他 5	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 「(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工、簿、情報から1)」の2 「(物)と(化、生、地学から1)」の2 英(ﾘｽﾆﾝｸﾞを含む)、独、仏、中、韓から1 ［5教科7科目］ 地歴・公民：から1	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル) 「(物基・物)と(化基・化、生基・生から1)」の2 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		センター試験	200	＊100	＊100	200	200	200	900	推薦 帰国子女 外国人 追加合格
								個別学力検査				200	125 125	100	550	
								計	200	＊100	＊100	400	450	300	1450	
		後期 3月12日			数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル) 物基・物 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		センター試験	100	＊50	＊50	200	200	100	650	
								個別学力検査				150	300	200	650	
								計	100	＊50	＊50	350	500	300	1300	
	物理システム工学科 56人 前期 33 後期 18 その他 5	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 「(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工、簿、情報から1)」の2 物、化、生、地学から2 英(ﾘｽﾆﾝｸﾞを含む)、独、仏、中、韓から1 ［5教科7科目］ 地歴・公民：から1	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル) 「(物基・物)と(化基・化、生基・生から1)」の2 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		センター試験	200	＊100	＊100	200	200	200	900	SAIL 帰国子女 外国人 追加合格
								個別学力検査				200	125 125	100	550	
								計	200	＊100	＊100	400	450	300	1450	
		後期 3月12日			数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル) 物基・物 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		センター試験	100	＊50	＊50	200	200	100	650	
								個別学力検査				150	300	200	650	
								計	100	＊50	＊50	350	500	300	1300	
	電気電子工学科 88人 前期 56 後期 26 その他 6	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 「(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工、簿、情報から1)」の2 「(物)と(化、生、地学から1)」の2 英(ﾘｽﾆﾝｸﾞを含む)、独、仏、中、韓から1 ［5教科7科目］ 地歴・公民：から1	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル) 「(物基・物)と(化基・化、生基・生から1)」の2 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		センター試験	200	＊100	＊100	200	200	200	900	推薦 帰国子女 外国人 追加合格
								個別学力検査				200	125 125	100	550	
								計	200	＊100	＊100	400	450	300	1450	
		後期 3月12日			数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル) 物基・物 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		センター試験	100	＊50	＊50	200	200	100	650	
								個別学力検査				150	300	200	650	
								計	100	＊50	＊50	350	500	300	1300	
	情報工学科 62人 前期 36 後期 21 その他 5	前期 2月25日	理 外	「(物)と(化、生、地学から1)」の2 英(ﾘｽﾆﾝｸﾞを含む)、独、仏、中、韓から1 ［5教科7科目］	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル) 「(物基・物)と(化基・化、生基・生から1)」の2 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		センター試験	200	＊100	＊100	200	200	200	900	SAIL 帰国子女 外国人 追加合格
								個別学力検査				200	125 125	100	550	
								計	200	＊100	＊100	400	450	300	1450	
		後期 3月12日			数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル) 物基・物 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		センター試験	100	＊50	＊50	200	200	100	650	
								個別学力検査				150	300	200	650	
								計	100	＊50	＊50	350	500	300	1300	

（注意）　　（4／4）

1. 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

（1） 地理歴史および公民について2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

（2） 理科について

① 農学部生物生産学科、応用生物科学科、環境資源科学科、地域生態システム学科においては、「物、化、生、地学」のうち2科目とします。

② 農学部共同獣医学科においては、「物、化、生」のうち2科目とします。

③ 工学部生命工学科においては、「物、化、生」のうち2科目とします。

④ 工学部応用分子化学科、有機材料化学科、化学システム工学科においては、「物」、「化」の2科目を指定します。

⑤ 工学部機械システム工学科においては、「物」を指定、「化、生、地学」から1科目選択の計2科目とします。

⑥ 工学部物理システム工学科においては、「物、化、生、地学」のうち2科目とします。

⑦ 工学部電気電子工学科、情報工学科においては、「物」を指定、「化、生、地学」から1科目選択の計2科目とします。

（3） 外国語は200点満点とし、「英語」を選択した場合は、筆記試験を160点、リスニングテストを40点とします。ただし、工学部後期日程試験においては外国語を100点満点に換算し、「英語」を選択した場合は、筆記試験を80点、リスニングテストを20点とします。なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者（以下、リスニングテスト免除者）については、筆記試験の得点を200点満点（工学部後期日程試験においては100点満点）に換算します。また、リスニングテスト免除者を除き、リスニングテストを受験しなかった場合は、「英語」を受験しなかった者として扱います。

（4） 工学部後期日程試験においては、国語を100点満点に換算し、地理歴史・公民を50点満点に換算します。

（5） 平成28年度大学入試センター試験から出題しないこととされた数学の「工業数理基礎」については、平成28年度大学入試センター試験に限り、旧教育課程履修者のための出題科目として残されるため、旧教育課程履修者のうち希望する者は、「工業数理基礎」を選択することができます。なお、新教育課程履修者は選択することができません。

2. 【個別学力検査等】欄

（1） 「数Ⅰ」、「数Ⅱ」、「数Ⅲ」、「数A」は全範囲から出題します。「数B」は、「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

（2） 『物基・物』は、「物基」、「物」の全範囲から出題します。『化基・化』は、「化基」、「化」の全範囲から出題します。『生基・生』は、「生基」、「生」の全範囲から出題します。

3. 【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に＊印を付してある教科は選択教科の配点を示します。

4. 大学入試センター試験の成績の複数年度利用は行いません。

Ⅴ．特　別　入　試

本学では、次の特別入試を実施します。詳細は、平成27年７月中旬発表予定の「AO入試学生募集要項」および８月下旬発表予定の「特別入試学生募集要項」を参照してください。

平成28年度東京農工大学入学者選抜方法等（特別入試）

学部	選抜方法等／学科名	AO入試	推薦入試								帰国子女・社会人等のための特別入試		私費外国人留学生	備考
			入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する							推薦入試募集人員				
			個別学力検査を免除し、大学入試センター試験を課する	個別学力検査および大学入試センター試験を免除する	実技検査等						帰国子女	社会人		
					実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	その他					
農学部	生物生産学科	×	○	×	×	×	×	×	×	６人	○	○	○	
	応用生物科学科	×	○	×	×	×	×	×	×	８人	○	○	○	
	環境資源科学科	○（ゼミナール入試）	○	×	×	×	×	×	×	６人	○	○	○	
	地域生態システム学科	×	○	×	×	×	×	×	×	８人	○	○	○	
	共同獣医学科	×	○	×	×	×	×	×	×	４人	×	×	○	
工学部	生命工学科	×	○	×	×	○	○	×	×	５人	○	×	○	
	応用分子化学科	×	○	×	×	○	○	×	×	４人	○	×	○	
	有機材料化学科	×	○	×	×	○	○	×	×	２人	○	×	○	
	化学システム工学科	×	○	×	×	○	○	×	×	３人	○	×	○	
	機械システム工学科	×	○	×	×	○	○	×	×	５人	○	×	○	
	物理システム工学科	○（SAIL入試）	×	×	×	×	×	×	×	募集しない	○	×	○	
	電気電子工学科	×	○	×	×	○	○	×	×	６人	○	×	○	
	情報工学科	○（SAIL入試）	×	×	×	×	×	×	×	募集しない	○	×	○	

（注）　○印は該当することを、×印は該当しないことを示す。

別紙３

平成28年度　ゼミナール入試（AO入試）

東京農工大学

<table>
<tr><td>実施学部・学科名
募集人員</td><td>農学部　環境資源科学科　３人</td></tr>
<tr><td>出願資格・要件</td><td>出願資格
次のいずれかに該当する者
(1)　高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）または中等教育学校を平成26年４月以降に卒業した者および平成28年３月までに卒業見込みの者
(2)　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を平成26年４月以降に修了した者および平成28年３月までに修了見込みの者

出願要件
本学環境資源科学科が実施する第１回ゼミナール（平成27年10月10日（土））受講を証明された者のうち、次のすべてに該当する者
(1)　学習成績が優秀な者
学校長から高い評価を得ている者（志願者評価書は、学校長を通して提出してもらいますが、学校ごとに提出できる志願者の人数は特に制限しません。）
(2)　本学環境資源科学科における勉学を強く志望し、第一志望とする者
(3)　最終合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
(4)　第二次選考合格者は、本学が平成28年度大学入試センター試験において指定する３教科５科目を必ず受験すること</td></tr>
<tr><td>選抜方法等</td><td>出願書類（志望理由書、活動報告書、調査書）の内容、ゼミナール（第１回・第２回）の結果、面接および大学入試センター試験の成績を総合して選考します。志願者評価書は参考資料とします。
なお、大学入試センター試験の成績の複数年度利用は行いません。

３教科５科目
<table><tr><th colspan="2">大学入試センター試験で受験を課す教科・科目名</th></tr><tr><td>数学</td><td>「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」　計２科目</td></tr><tr><td>理科</td><td>「物、化、生、地学」　から２科目</td></tr><tr><td>外国語</td><td>英（リスニングを含む）　を１科目</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>ゼミナール申込および出願期間</td><td>第１回ゼミナール申込み：平成27年９月17日（木）～９月24日（木）
出願期間　：平成27年10月16日（金）～10月22日（木）
※出願にあたっては、第１回ゼミナール受講を証明されていることが必須要件です。</td></tr>
<tr><td>選抜期日</td><td>○第一次選考（第１回ゼミナール）　：平成27年10月10日（土）
○第二次選考（第２回ゼミナールと面接）　：平成27年11月21日（土）
○大学入試センター試験（３教科５科目）　：平成28年１月16日（土）・１月17日（日）</td></tr>
<tr><td>合格発表日</td><td>第一次選考：平成27年11月13日（金）
第二次選考：平成27年12月11日（金）
最終選考：平成28年２月10日（水）</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>詳細については、平成27年７月中旬発表予定のAO入試学生募集要項を参照してください。</td></tr>
</table>

別紙４

平成28年度　SAIL入試（AO入試）

東京農工大学

実施学部・学科名 募集人員	工学部　物理システム工学科　５人 工学部　情報工学科　５人
出願資格・要件	出願資格 次のいずれかに該当する者 (1)　高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）または中等教育学校を卒業した者および平成28年３月までに卒業見込みの者 (2)　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および平成28年３月までに修了見込みの者 出願要件 次のすべてに該当する者 (1)　学習成績が優秀な者 志願者評価書（物理システム工学科志願者のみ提出）は、学校長を通じて提出してもらいますが、学校ごとに提出できる志願者の人数は特に制限しません。 (2)　本学物理システム工学科または情報工学科における勉学を強く志望し、第一志望とする者
選抜方法等	【物理システム工学科】 出願書類（志望理由書、調査書、特別活動レポート）の内容、特別活動レポートの内容に関するプレゼンテーション（10分）と、レポートおよびプレゼンテーションの内容に関する質疑応答（20分）を含む面接によって選考します。志願者評価書は参考資料とします。 【情報工学科】 出願書類（志望理由書、調査書、特別活動レポート）の内容、特別活動レポートの内容に関するプレゼンテーションと、その内容に関する質疑応答を通した問題解決能力の確認、および、数学と情報に関する基礎能力の確認を含む面接によって選考します。
出願期間	平成27年８月28日（金）～９月３日（木）
選抜期日	○第一次選考（書類選考）：平成27年９月11日（金） ○第二次選考（最終選考）：平成27年９月23日（水）
合格発表日	第一次選考：平成27年９月11日（金） 第二次選考：平成27年10月９日（金）
その他	詳細については、平成27年７月中旬発表予定のAO入試学生募集要項を参照してください。

別紙５

平成28年度　特別入試（推薦入試Ⅱ）

東京農工大学

<table>
<tr><td>実施学部・学科名
募集人員</td><td>農学部
生物生産学科　６人
応用生物科学科　８人
環境資源科学科　６人
地域生態システム学科　８人
共同獣医学科　４人</td></tr>
<tr><td>出願要件</td><td>出願要件
次の各号の要件すべてに該当し、学校長が責任をもって推薦できる者
(1) 次のいずれかに該当する者
① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）または中等教育学校を平成28年３月卒業見込みの者
② 学校教育法施行規則第93条第３項等の規定により、平成27年度の学年の途中または学期の区分に従い高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）または中等教育学校の卒業を認められた者
③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月以降に修了した者および平成28年３月までに修了見込みの者
(2) 学業・人物ともに優れ、志望学科に関連する分野における学習に強い意欲を有する者
(3) 平成28年度大学入試センター試験の教科・科目（選抜方法等参照）を受験する者
(4) 推薦入試Ⅱに合格した場合は、必ず入学することを確約できる者

推薦人数
学校長が推薦する人数は、特に制限しません。</td></tr>
<tr><td>選抜方法等</td><td>大学入試センター試験の成績、推薦書、志望理由書および調査書を総合して選考します。なお、大学入試センター試験の成績の複数年度利用は、行いません。

全学科（５教科７科目）
<table>
<tr><th>学科名</th><th colspan="2">大学入試センター試験で受験を課す教科・科目名</th></tr>
<tr><td rowspan="3">全学科</td><td>国語</td><td>国語</td></tr>
<tr><td>地歴と公民</td><td>世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から１科目。２科目を受験した場合は、第１解答科目の得点を採用します。</td></tr>
<tr><td>数学</td><td>数Ⅰ・数Aと
「数Ⅱ・数B、簿、情報から１科目」　計２科目</td></tr>
<tr><td>生物生産学科
応用生物科学科
環境資源科学科
地域生態システム学科</td><td rowspan="2">理科</td><td>「物、化、生、地学」から２科目</td></tr>
<tr><td>共同獣医学科</td><td>「物、化、生」から２科目</td></tr>
<tr><td>全学科</td><td>外国語</td><td>英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から１科目</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>出願期間</td><td>平成28年１月15日（金）～平成28年１月21日（木）</td></tr>
<tr><td>選抜期日</td><td></td></tr>
<tr><td>合格発表日</td><td>平成28年２月10日（水）</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>詳細については、平成27年８月下旬発表予定の特別入試学生募集要項を参照してください。</td></tr>
</table>

別紙６

平成28年度　特別入試（推薦入試Ⅱ）

東京農工大学

実施学部・学科名 募集人員	工学部 生命工学科　５人 応用分子化学科　４人 有機材料化学科　２人 化学システム工学科　３人 機械システム工学科　５人 電気電子工学科　６人
出願要件	出願要件 次の各号の要件すべてに該当し、学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）または中等教育学校を平成27年３月から平成28年３月までに卒業および卒業見込みの者 ② 学校教育法施行規則第93条第３項等の規定により、平成26年度または平成27年度の学年の途中または学期の区分に従い高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）または中等教育学校の卒業を認められた者 ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を平成26年4月以降に修了した者および平成28年３月までに修了見込みの者 (2) 学業・人物ともに優れ、志望学科に関連する分野における学習に強い意欲を有する者 (3) 平成28年度大学入試センター試験の教科・科目（選抜方法等参照）を受験する者 (4) 推薦入試Ⅱに合格した場合は、必ず入学することを確約できる者 推薦人数 学校長が推薦する人数は、特に制限しません。
選抜方法等	(1) 選抜スケジュールと内容 ①第一次選考：書類選考（志望理由書・推薦書・調査書） ②第二次選考：小論文（60分）・面接試験（人物・口頭試問） ③大学入試センター試験： 大学入試センター試験において、受験を課す５教科７科目の合計得点である900点のうち、65%（585点）以上獲得した受験生を最終選考合格者とします。ただし、第二次選考の評価によっては60%（540点）以上であるなら合格となる場合があります。 なお、大学入試センター試験の成績の複数年度利用は、行いません。 (2) 大学入試センター試験で課す５教科７科目

学科名	大学入試センター試験で受験を課す教科・科目名	
生命工学科 応用分子化学科 有機材料化学科 化学システム工学科 機械システム工学科 電気電子工学科	国語	国語
	地歴と公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から１科目。２科目を受験した場合は、第１解答科目の得点を採用します。
	数学	数Ⅰ・数Aと 「数Ⅱ・数B、工、簿、情報から１科目」計２科目
	外国語	英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から１科目
生命工学科	理科	「物、化、生」から２科目
応用分子化学科 有機材料化学科 化学システム工学科	理科	「物、化」の２科目
機械システム工学科 電気電子工学科	理科	物と「化、生、地学から１科目」　計２科目

（注） 平成28年度大学入試センター試験から出題しないこととされた数学の「工業数理基礎」については、平成28年度大学入試センター試験に限り、旧教育課程履修者のための出題科目として残されるため、旧教育課程履修者のうち希望する者は、「工業数理基礎」を選択することができます。なお、新教育課程履修者は選択することができません。

出　願　期　間	平成27年11月１日（日）～平成27年11月６日（金）
選　抜　期　日	○第一次選考（書類選考）　：平成27年11月18日（水） ○第二次選考（小論文・面接試験）　：平成27年12月５日（土） ○大学入試センター試験（５教科７科目）：平成28年１月16日（土）・１月17日（日）
合　格　発　表　日	平成28年２月10日（水）
そ　の　他	詳細については、平成27年８月下旬発表予定の特別入試学生募集要項を参照してください。

別紙７

平成28年度　特別入試（帰国子女）

東京農工大学

実施学部・学科名 募集人員	農学部　生物生産学科 応用生物科学科 環境資源科学科 地域生態システム学科 各学科若干名
出願要件	日本国籍を有する者または日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等の事情に伴い海外に在住し（注1）、外国の学校教育を受けた者（注2）（海外勤務等の対象となった保護者との同伴期間は１年以上とし、その後の単身滞在期間は２年以内の者）で、次の各号のいずれかに該当するもの。ただし、再受験は認めません。 （注1）　保護者の海外勤務等の事情に伴い海外に在住したことを条件としているため、保護者の生活基盤が初めから外国にあるような場合は出願資格がありません。 （注2）　文部科学大臣が日本の高等学校、中等教育学校または中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設における在学期間は、外国の学校教育を受けた期間に加算しません。 (1)　外国において学校教育における12年の課程（注3）のうち、最終学年を含め２年以上継続して教育を受け、平成26年４月１日から平成28年３月31日までにその課程を修了または修了見込みの者 （注3）「外国において学校教育における12年の課程」とは、地理的、場所的に外国で、滞在国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであることを要します。外国にあるインターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者は、この要件(1)によって出願が認められないケースや出願資格の確認に時間がかかる場合があるので、必ず本学学務部入試課に問い合わせのうえ、平成27年12月２日（水）までに必要な書類を提出してください。 (2)　外国において３年以上継続して滞在国における正規の教育制度に基づく学校教育を受け、日本の高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）の第２学年もしくは第３学年または中等教育学校の第５学年もしくは第６学年に編入学を認められた者で、平成28年3月卒業見込みのもの（学校教育法施行規則第93条第３項等の規定により、平成27年度の学年の途中または学期の区分に従い高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）または中等教育学校の卒業を認められた者を含む。） (3)　外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格を平成26年または平成27年に授与された者で、平成28年３月31日までに18歳に達するもの (4)　外国において、ドイツ連邦共和国の各州における大学入学資格として認められているアビトゥア資格（ライフェを含む。）を平成26年または平成27年に授与された者で、平成28年３月31日までに18歳に達するもの (5)　外国において、フランス共和国における大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成26年または平成27年に授与された者で、平成28年３月31日までに18歳に達するもの (6)　本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成28年３月31日までに18歳に達するもの 入学資格審査を希望する者は、必ず本学学務部入試課に問い合わせのうえ、平成27年12月２日（水）までに本学学務部入試課へ必要な書類を提出してください。
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し、学力試験・面接・成績証明書等を総合して選考します。
出願期間	平成28年１月15日（金）～平成28年１月21日（木）
選抜期日	平成28年２月25日（木）・２月26日（金）
合格発表日	平成28年３月６日（日）
その他	詳細については、平成27年８月下旬発表予定の特別入試学生募集要項を参照してください。

別紙８

平成28年度　特別入試（帰国子女）

東京農工大学

実施学部・学科名 募集人員	工学部　生命工学科 応用分子化学科 有機材料化学科 化学システム工学科 機械システム工学科 物理システム工学科 電気電子工学科 情報工学科 各学科若干名
出願要件	日本国籍を有する者または日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等の事情に伴い海外に在住し（注1）、外国の学校教育を受けた者（注2）（海外勤務等の対象となった保護者との同伴期間は１年以上とし、その後の単身滞在期間は２年以内の者）で、次の各号のいずれかに該当するもの。ただし、再受験は認めません。 （注1）保護者の海外勤務等の事情に伴い海外に在住したことを条件としているため、保護者の生活基盤が初めから外国にあるような場合は出願資格がありません。 （注2）文部科学大臣が日本の高等学校、中等教育学校または中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設における在学期間は、外国の学校教育を受けた期間に加算しません。 (1) 外国において学校教育における12年の課程（注3）のうち、最終学年を含め２年以上継続して教育を受け、平成26年４月１日から平成28年３月31日までにその課程を修了または修了見込みの者 （注3）「外国において学校教育における12年の課程」とは、地理的、場所的に外国で、滞在国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであることを要します。外国にあるインターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者は、この要件(1)によって出願が認められないケースや出願資格の確認に時間がかかる場合があるので、必ず本学学務部入試課に問い合わせのうえ、平成27年10月２日（金）までに必要な書類を提出してください。 (2) 外国において３年以上継続して滞在国における正規の教育制度に基づく学校教育を受け、日本の高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）の第２学年もしくは第３学年または中等教育学校の第５学年もしくは第６学年に編入学を認められた者で、平成28年3月卒業見込みのもの（学校教育法施行規則第93条第３項等の規定により、平成27年度の学年の途中または学期の区分に従い高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）または中等教育学校の卒業を認められた者を含む。） (3) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格を平成26年または平成27年に授与された者で、平成28年３月31日までに18歳に達するもの (4) 外国において、ドイツ連邦共和国の各州における大学入学資格として認められているアビトゥア資格（ライフェを含む。）を平成26年または平成27年に授与された者で、平成28年３月31日までに18歳に達するもの (5) 外国において、フランス共和国における大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成26年または平成27年に授与された者で、平成28年３月31日までに18歳に達するもの (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成28年３月31日までに18歳に達するもの 入学資格審査を希望する者は、必ず本学学務部入試課に問い合わせのうえ、平成27年10月２日（金）までに必要な書類を提出してください。
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し、小論文・面接・志望理由書・成績証明書等を総合して選考します。面接においては、全学科口述による簡単な基礎学力テストを行います。なお、生命工学科、電気電子工学科、情報工学科は小論文試験を行いません。
出願期間	平成27年11月１日（日）～平成27年11月５日（木）
選抜期日	平成27年11月24日（火）
合格発表日	平成27年12月11日（金）
その他	詳細については、平成27年８月下旬発表予定の特別入試学生募集要項を参照してください。

別紙９

平成28年度　特別入試（社会人）

東京農工大学

実施学部・学科名 募集人員	農学部　生物生産学科 応用生物科学科 環境資源科学科 地域生態システム学科 各学科若干名
出願要件	平成28年３月31日までに満23歳に達し、社会人としての経験を通算５年以上（満５年を含む。）有する者で、次の各号のいずれかに該当するもの (1)　高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）または中等教育学校を卒業した者および平成28年３月までに卒業見込みの者 (2)　通常の課程による12年の学校教育を修了した者および平成28年３月までに修了見込みの者 (3)　学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち次の①から⑤までのいずれかに該当する者および平成28年３月31日までにこれに該当する見込みの者 ①　外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ②　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者 ③　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者 ④　文部科学大臣の指定した者 ⑤　高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第１号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し、学力試験・面接・志望理由書・調査書等を総合して選考します。
出願期間	平成28年１月15日（金）～平成28年１月21日（木）
選抜期日	平成28年２月25日（木）・２月26日（金）
合格発表日	平成28年３月６日（日）
その他	詳細については、平成27年８月下旬発表予定の特別入試学生募集要項を参照してください。

別紙10

平成28年度　私費外国人留学生入試

東京農工大学

<table>
<tr><td rowspan="2">実施学部・学科名
募集人員</td><td>農学部</td><td>生物生産学科
応用生物科学科
環境資源科学科
地域生態システム学科
共同獣医学科</td><td>各学科若干名</td></tr>
<tr><td>工学部</td><td>生命工学科
応用分子化学科
有機材料化学科
化学システム工学科
機械システム工学科
物理システム工学科
電気電子工学科
情報工学科</td><td>各学科若干名</td></tr>
<tr><td>出願要件</td><td colspan="3">次の(1)、(2)、(3)、(4)のすべてに該当する者
(1)　日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者は除く。）
(2)　出入国管理および難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者または受験の際に有する見込みのある者で、次のいずれかに該当するもの
①　外国において学校教育における12年の課程（注）を修了した者もしくは平成28年（2016年）３月までに修了見込みの者またはこれに準ずる者で文部科学大臣が指定したもの（昭和56年文部省告示第153号）
（注）「外国において学校教育における12年の課程」とは、地理的、場所的に外国で、滞在国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであることを要します。外国にあるインターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者は、この要件①によって出願が認められないケースや出願資格の確認に時間がかかる場合があるので、必ず本学学務部入試課に問い合わせのうえ、平成27年12月25日（金）までに必要な書類を提出してください。
②　スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、18歳に達したものまたは平成28年（2016年）３月31日までに18歳に達するもの
③　ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資資格（ライフェを含む。）を有する者で、18歳に達したものまたは平成28年（2016年）３月31日までに18歳に達するもの
④　フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、18歳に達したものまたは平成28年（2016年）３月31日までに18歳に達するもの
⑤　外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国において設置された教育施設であって、その教育活動等について、アメリカ合衆国カリフォルニア州に主たる事務所が所在する団体であるウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、同コロラド州に主たる事務所が所在する団体であるアソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナルまたはグレート・ブリテンおよび北部アイルランド連合王国ハンプシャー市に主たる事務所が所在する団体であるカウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズの認定を受けたものに置かれる12年の課程を修了した者で、18歳に達したものまたは平成28年３月31日までに18歳に達するもの
⑥　本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成28年３月31日までに18歳に達するもの
入学資格審査を希望する者は、必ず本学学務部入試課に問い合わせのうえ、平成27年12月25日（金）までに本学学務部入試課へ必要な書類を提出してください。
(3)　独立行政法人日本学生支援機構が平成27年（2015年）６月または11月に実施する「平成27年度（2015年度）日本留学試験」を受験した者（日本留学試験で受験を課する教科等は、次項を参照のこと）
(4)　英語検定試験
〔農学部〕　次の英語検定試験のいずれかの基準を満たしている者
TOEFL 470点以上（Paper-Based）、
52点以上（Internet-Based）
TOEIC 500点以上
〔工学部〕　TOEFLまたはTOEICを受験した者</td></tr>
</table>

選抜方法等	大学入試センター試験を免除し、本学が実施する学力検査、面接試験の成績および日本留学試験の成績、各種証明書等を総合して選考します。
出願期間	平成28年（2016年）１月25日（月）～平成28年（2016年）２月３日（水） 原則として出願は持参とします。
選抜期日	平成28年（2016年）２月25日（木）・２月26日（金）
合格発表日	平成28年（2016年）３月６日（日）
その他	詳細については、平成27年（2015年）８月下旬発表予定の特別入試学生募集要項を参照してください。

私費外国人留学生入試における
平成27年度（2015年度）日本留学試験で受験を課す教科・科目等

〔農学部〕

① 出題言語は日本語とする。

② 受験を課す教科・科目

学科名	日本留学試験で受験を課す教科・科目名	
生物生産学科 応用生物科学科 共同獣医学科	日本語	
	数学	コース２
	理科	化学、生物の２科目
環境資源科学科 地域生態システム学科	日本語	
	数学	コース２
	理科	物理・化学・生物から２科目選択

〔工学部〕

① 出題言語は日本語または英語のいずれでもよい。

② 受験を課す教科・科目

学科名	日本留学試験で受験を課す教科・科目名	
生命工学科	日本語	
	数学	コース２
	理科	物理・化学・生物から２科目選択
応用分子化学科 有機材料化学科 化学システム工学科	日本語	
	数学	コース２
	理科	物理、化学の２科目
機械システム工学科 物理システム工学科 電気電子工学科 情報工学科	日本語	
	数学	コース２
	理科	物理と「化学・生物から１科目選択」の計２科目

Ⅵ．受験上および修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障害（学校教育法施行令第22条の３に定める障害の程度）等のある者で、受験上および修学上の配慮を必要とする者は、出願期間開始前（ゼミナール入試は第１回ゼミナール受講申込開始前）までに相談してください。

なお、申請内容によっては、本学の試験日までに対応できず、配慮できないこともありますので、なるべく早く申し出てください。

１．事前相談の方法

事前相談に当たっては、「２．申請書の記入事項」に従い申請書を作成し、医師の診断書などの必要な書類を添付して提出してください。なお、必要な場合は、本学において志願者等との面談等を行います。

２．申請書の記入事項

様式は特に定めませんが、A4判縦とします。

平成　　年　　月　　日

東京農工大学長　殿

フリガナ
氏　　名
生年月日・性別
住　　所　〒
電話番号

東京農工大学を受験したいので、下記のとおり事前に相談します。

記

1. 志望する学部・学科（第１志望および第２志望学科）
2. 選抜試験名（前期日程試験、ＳＡＩＬ入試、推薦入試Ⅱ等）
3. 障害等の種類、程度
4. 受験上希望する配慮事項
5. 修学上希望する配慮事項
6. 次の資料を添付してください。
   診断書（原本）、障害者手帳（写）、大学入試センター試験受験上の配慮事項決定通知書（写）、その他参考となる資料等

3. 提出・問い合わせ先

〒183-8538　東京都府中市晴見町３-８-１
東京農工大学学務部入試課入学試験係　　Tel. 042-367-5837、5544

Ⅶ．入試情報開示について

一般入試学生募集要項および特別入試学生募集要項（推薦入試Ⅱのみ。ただし工学部推薦入試Ⅱでは、第二次選考合格者に限る。）に掲載しますので、ご覧ください。

Ⅷ. 募集要項等の発表および請求方法

1. 発表（配付）予定

AO入試学生募集要項	平成27年７月中旬
特別入試学生募集要項	平成27年８月下旬
一般入試学生募集要項（前期日程・後期日程）	平成27年10月下旬

2. 請求方法

(1) 本学のホームページからの請求方法

本学のホームページから直接、「テレメール」「モバっちょ」等による資料が請求できます。詳しくは、東京農工大学のホームページをご覧ください。　http://www.tuat.ac.jp/

(2) テレメールによる請求方法（一般入試学生募集要項、特別入試学生募集要項、AO入試学生募集要項、大学案内および入試情報（平成27年度入試結果等を掲載したもの））

① インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）または電話をご利用ください。

テレメール

インターネット(パソコン・スマートフォン・携帯電話)の場合	電話の場合	
http://telemail.jp	ＩＰ電話※	050-8601-0101 （24時間受付）
スマートフォン・携帯電話でバーコードを読み取り、アクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要です。		

※ＩＰ電話：一般電話回線からの通話料金は、日本全国どこからでも３分ごとに約12円です。

② 資料請求番号（６桁）をプッシュしてください。

大学案内	562322
入試情報	547142
一般入試学生募集要項	582302
一般入試学生募集要項+大学案内	542302
特別入試学生募集要項	582342
特別入試学生募集要項+大学案内	548862
AO入試学生募集要項	581782
AO入試学生募集要項+大学案内	582442

③ 後はガイダンスに従って操作してください。料金は、資料が届いたら同封の振込用紙により振り込んでください。受付から２、３日で送付されます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては4日以上かかる場合もあります。5日以上経っても届かない場合はテレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。なお、郵送開始までの請求は予約受付となり、郵送開始日になりましたら一斉に発送します。

※資料請求終了時および受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。

※電話によるご請求の場合、住所、氏名の登録時は、ゆっくりはっきりとお話しください。登録された音声が不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。

テレメールでの資料請求における資料のお届け・個人情報に関するお問い合わせ・お申し出先
テレメールカスタマーセンター　IP電話　050-8601-0102（受付時間　9:30～18:00）まで

※テレメールカスタマーセンターは、株式会社フロムページが管理運営しています。

(3) 「モバっちょ」による請求方法（一般入試学生募集要項、特別入試学生募集要項、AO入試学生募集要項、大学案内および入試情報（平成27年度入試結果等を掲載したもの））

①インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）をご利用ください。

http://djc-mb.jp/tuat3/ パソコン・スマートフォン・携帯電話とも共通アドレスです。	対応するスマートフォン・携帯電話で読み取ることができます。

②ガイダンスに従って登録してください。

【料金の支払い方法等】

1　請求時払い：スマホ払い、携帯払い、クレジットカード払いができます。（支払手数料は別途 50 円必要です。）

※スマートフォン・携帯電話の機種、携帯電話会社との契約状況によって、通話料金と一緒にお支払いできない場合がございます。その場合、コンビニ後払いを選択してください。

2　後払い：資料到着後、コンビニでお支払いください。（支払手数料は別途 126 円必要です。）

3　請求から 2～5 日程で送付されます。宅配発送の場合は 1～3 日で送付されます。

≪モバっちょでの請求に関するお問い合わせ先≫

大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター　050-3540-5005（平日10：00～18：00）

(4) 宅配による請求方法（一般入試学生募集要項、特別入試学生募集要項、AO入試学生募集要項および入試情報（平成27年度入試結果等を掲載したもの））

インターネット（パソコン・スマートフォン）またはFAX（P.29）で申し込んでください。平日の14時までの申込みは当日受付となり、原則として受付日当日に発送し翌日の配達となります。ただし、平日の14時以降・土日・祝日・夏季休業日（８月10日～19日）・年末年始（12月27日～１月６日）の申込みは、明けて翌日の発送となります。また、北海道・九州・沖縄・離島は、発送後の翌々日の配達となります。送料は着払いです。

なお、配達予定日を過ぎても到着しない場合は、③の問い合わせ先にご連絡ください。

① 受付期間

特別入試	ＡＯ入試	平成27年８月１日～平成27年９月11日
	推薦Ⅱ（工学部） 帰国子女（工学部）	平成27年９月１日～平成27年10月23日
	推薦Ⅱ（農学部） 帰国子女（農学部） 社会人	平成27年９月１日～平成28年１月８日
	私費外国人留学生	平成27年９月１日～平成28年１月22日
一般入試		平成27年10月下旬～平成28年１月22日
入試情報		平成27年８月１日～平成28年１月22日

※大学案内は、いずれの資料を請求しても、１冊配達されます。

② 申込先

インターネット(パソコン・スマートフォン)の場合	FAX
http://www.univcoop.jp/tuat/ フォームに必要事項を入力し、内容を確認のうえ、送信してください。	042－352－7222 （24時間受付） 次頁の「学生募集要項」等申込書をご利用ください。

③　**問い合わせ先**

東京農工大学生協

電　話：042-366-0762（夏季休業日・年末年始・土日・祝日を除く10時～14時）

(5) 大学へ直接請求する方法（一般入試学生募集要項、特別入試学生募集要項、AO入試学生募集要項、大学案内および入試情報（平成27年度入試結果等を掲載したもの））

1）郵送による場合

切手をはり付けた返信用封筒（角形２号の封筒に、郵便番号、住所、氏名を明記してください。）を同封のうえ、申し込んでください。

《請求方法》

①　返信用封筒に300円（速達の場合は620円）の切手をはり付けてください。

②　請求用封筒に返信用封筒を入れ、表のあて名の横に「一般入試学生募集要項請求」・「特別入試学生募集要項請求」・「AO入試学生募集要項請求」・「入試情報請求」の別を、必ず朱書きで明記してください。

なお、返信用封筒には「送り先」および「ゆうメール」と記載してください。

※大学案内は、いずれの資料を請求しても、１冊配達されます。

③　請求先

東京農工大学学務部入試課入学試験係（〒183-8538　東京都府中市晴見町３-８-１）

2）直接取りにくる場合　月～金曜日（夏季休業日・年末年始・土日・祝日を除く）８：30～17：00

下記の窓口で入手できます。

学務部入試課入学試験係（東京都府中市晴見町３-８-１）

小金井地区事務部学生支援室入学試験係（東京都小金井市中町２-24-16）

〔ＦＡＸ専用〕

送　信　先

東京農工大学生協　　御中

FAX　042−352−7222

東京農工大学「学生募集要項」等申込書

下記の要項等を請求します。料金は受取の際に支払います。

申　込　日		平成　　年　　月　　日	
請求する要項等※ （○で囲む）		種　類	部　数
		A O 入 試 学生募集要項	
		特 別 入 試 学生募集要項	
		一 般 入 試 学生募集要項	
		入 試 情 報 （平成27年度入試結果等 を掲載したもの）	
配達先	郵便番号	〒　　-	
	住　所	都道 府県	
	フリガナ 氏　名		
	電話番号	（　　）　　−	

※大学案内は、いずれの資料を請求しても、１冊配達されます。

（注）1. 文字はかい書で、はっきりと書いてください。
2. 「種類」は希望するものを○で囲んでください。
3. 「住所」はアパート名、棟、号数まで記入してください。

交　通　案　内

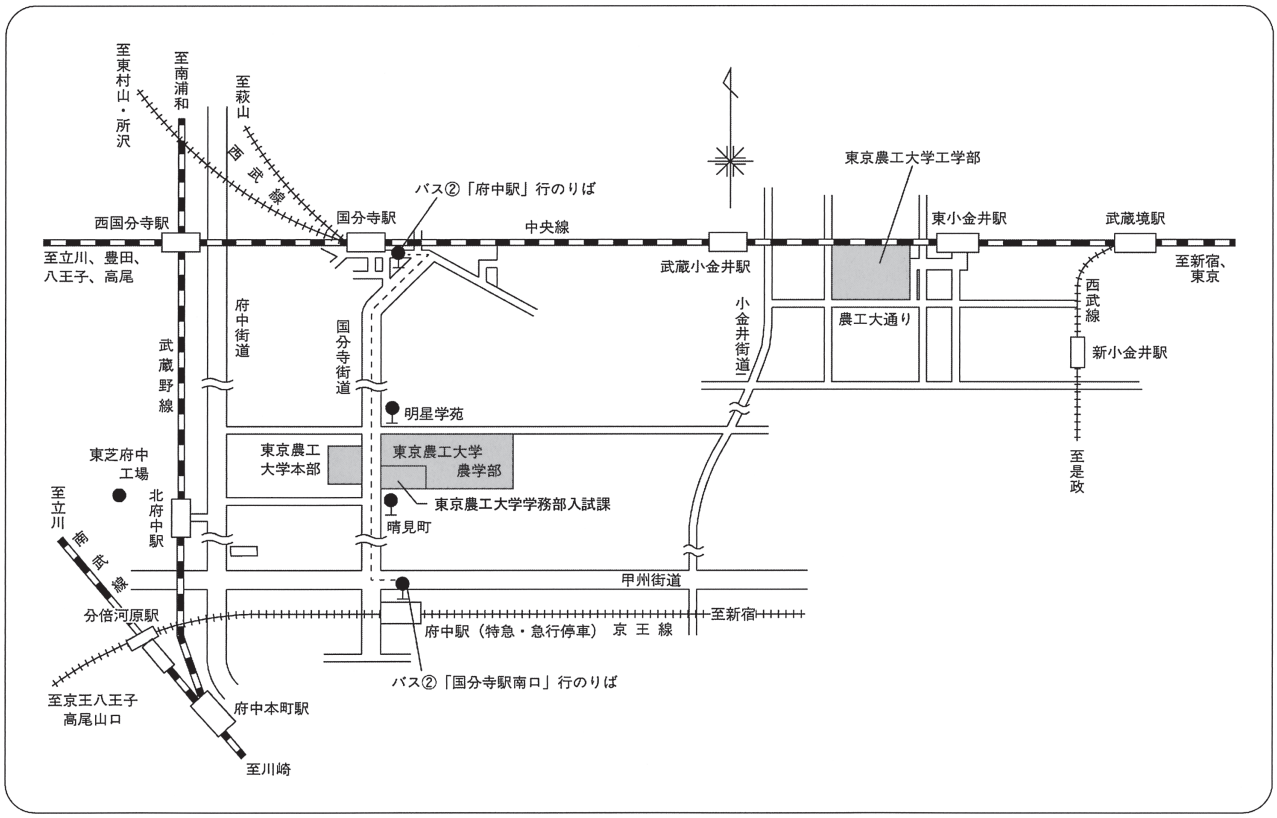
農　学　部　　**中央線**　　○**国分寺駅**（新宿から約 30 分）
2 番乗場　南口から府中駅行きバス（明星学苑経由）
約 10 分　晴見町（東京農工大前）下車

京王線　　○**府中駅**（新宿から約 30 分）
2 番乗場　バスターミナルから国分寺駅南口行きバス
（明星学苑経由）
約 7 分　晴見町（東京農工大前）下車

武蔵野線　　○**北府中駅**から徒歩約 12 分

工　学　部　　**中央線**　　○**東小金井駅**（新宿から約 24 分）
南口から徒歩約 8 分

○**武蔵小金井駅**（立川から約 13 分）
南口から徒歩約 20 分



所　在　地

本　部　　東京都府中市晴見町 3－8－1
農学部　　東京都府中市幸町 3－5－8
工学部　　東京都小金井市中町 2－24－16
http://www.tuat.ac.jp/

入学試験に関する問い合わせ先

◎　東京農工大学学務部入試課入学試験係
〒183-8538　東京都府中市晴見町 3-8-1
電話　042-367-5837、5544
受付時間
月曜日～金曜日（土日・祝日を除く）
9：00～12：00、13：00～17：00

電話等による問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。